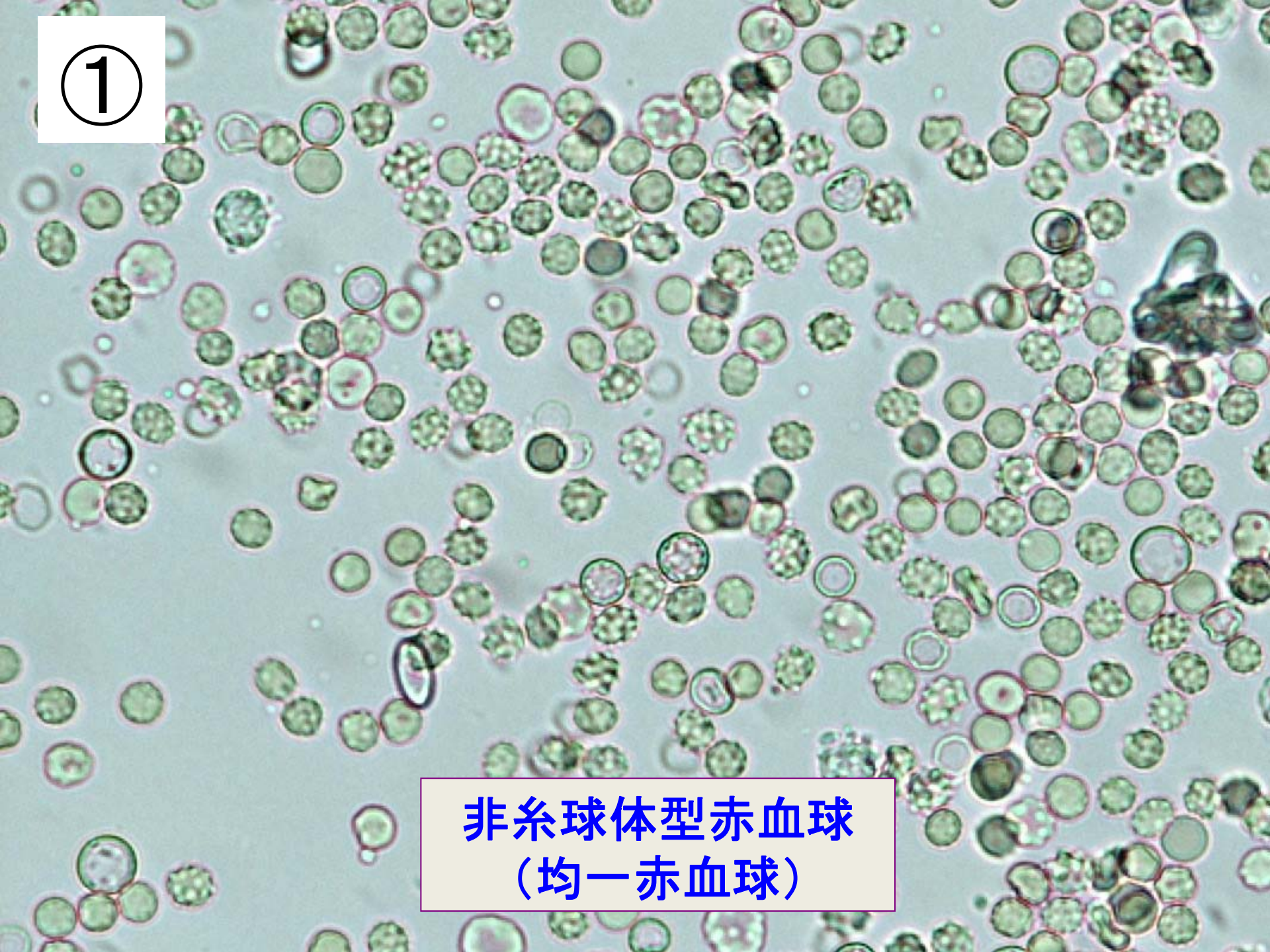


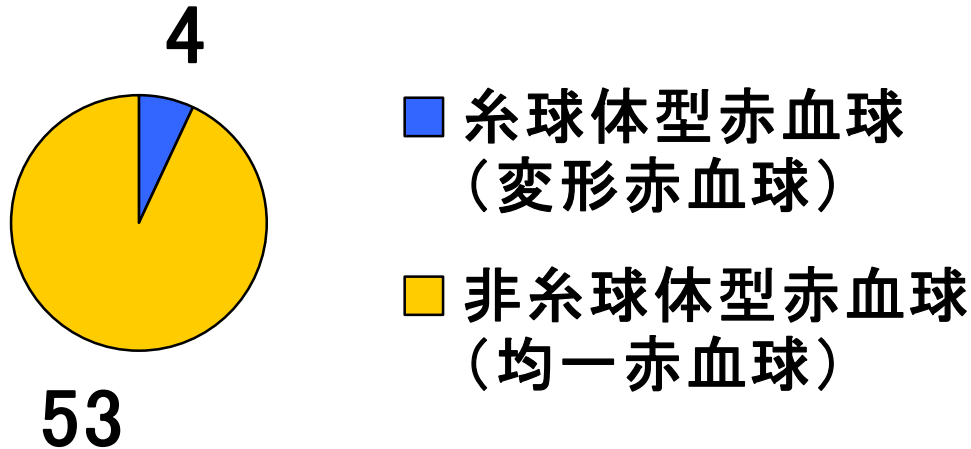
平成25年度一般検査 フォトサーベイ

似て非なるもの

①



非系球体型赤血球
(均一赤血球)



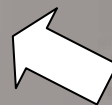
■ 系球体型赤血球 (変形赤血球)

腎臓からの出血のため、尿細管の浸透圧の変化などで、ドーナツ状、コブ状、標的状、有棘状の赤血球が見られる

■ 非系球体型赤血球 (均一赤血球)

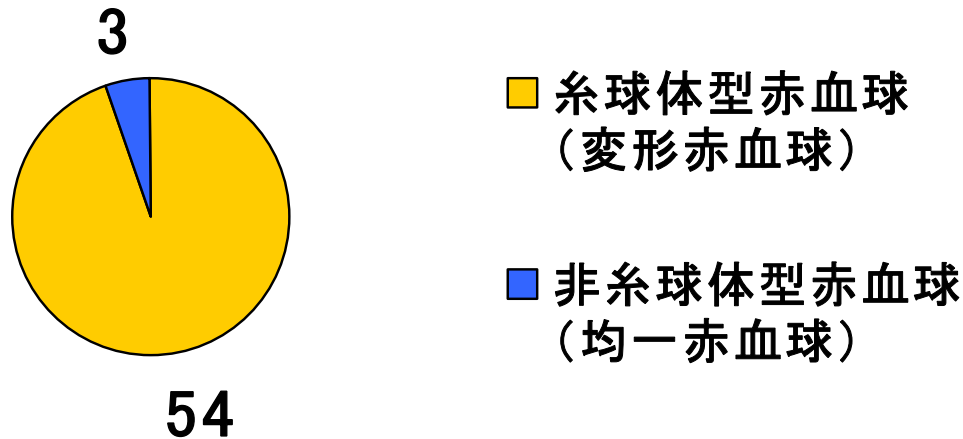
膀胱、尿管からの出血で、尿の浸透圧が高いと辺縁がギザギザになる。
時間がたつとコブができることがある。ヘモグロビンに富む

②



糸球体型赤血球
(变形赤血球)



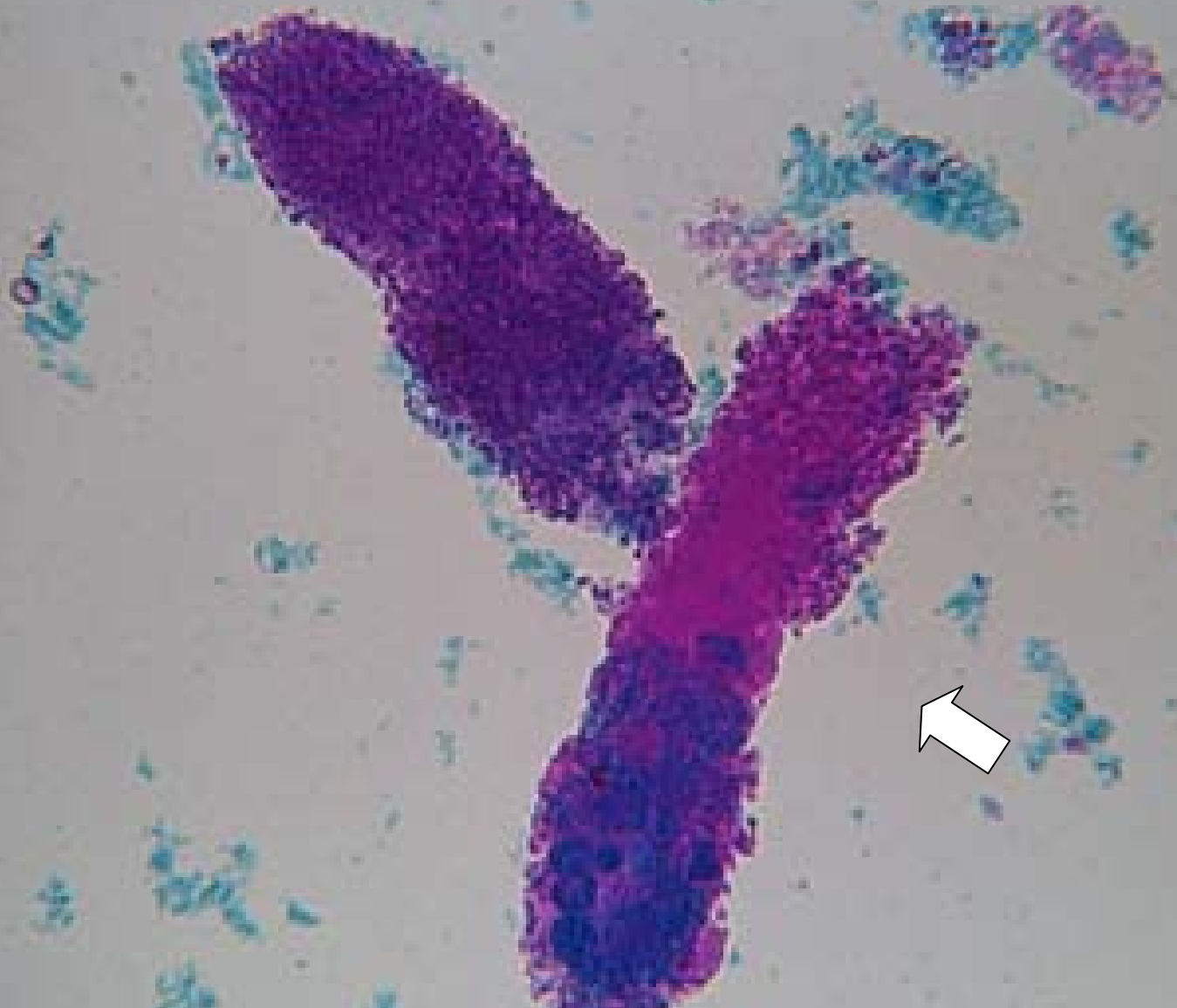


■ 糸球体型赤血球 (変形赤血球)

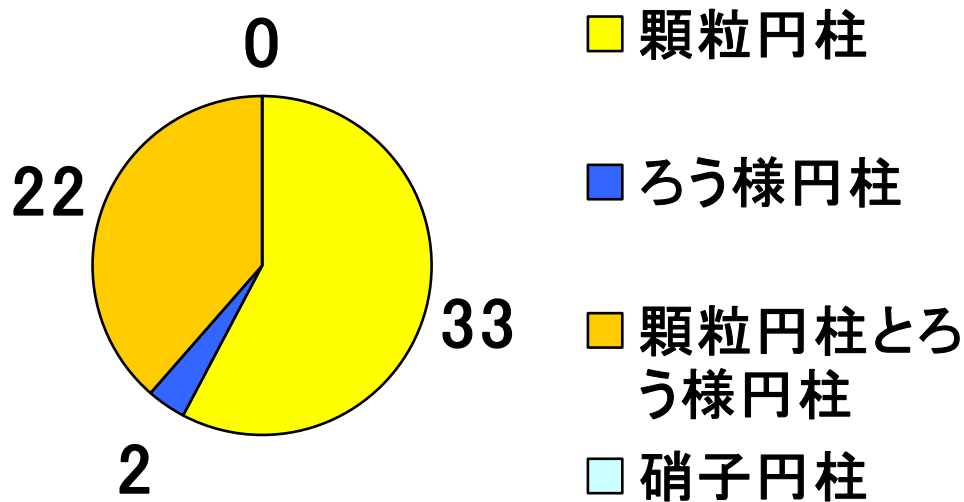
糸球体から出血した赤血球は、尿細管のなかを通るうちに、浸透圧の変化などにより、形がさまざまに変化し、大小不同、また小型化を呈する。

赤血球円柱や尿蛋白を伴うことが多い。

③



顆粒円柱とろう様円柱と上皮円柱



- **ろう様円柱と顆粒円柱と上皮円柱が正解です。**

ろう様円柱と顆粒円柱のつもりで出題しましたが、ろう様円柱の下部には尿細管上皮の核が見られます。このような場合は上皮円柱も1個あることになります。

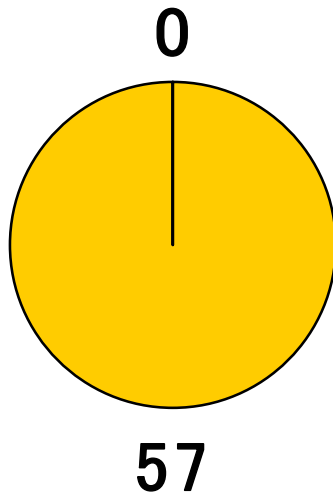
一つの円柱に複数の成分が含まれる場合は、それぞれの円柱が1個ずつ存在すると数えます。

出題ミスのため評価は行いませんでした。

④

上皮円柱





- 白血球円柱
- 上皮円柱

■ 上皮円柱

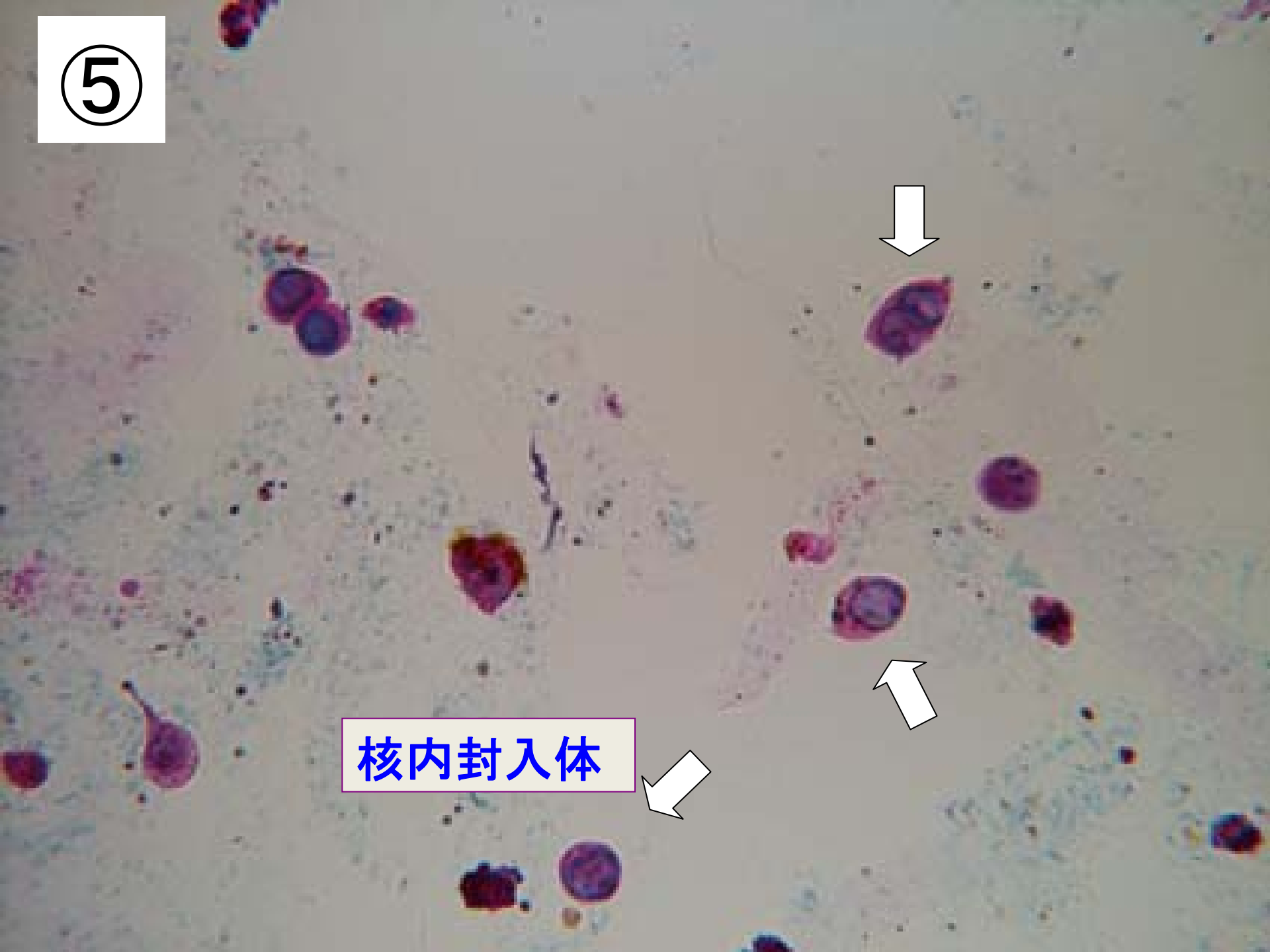
円柱のなかの細胞は細胞質の顆粒は明確ではないが、染色性がよく、濃縮した単核を有することから尿細管上皮細胞と思われます。

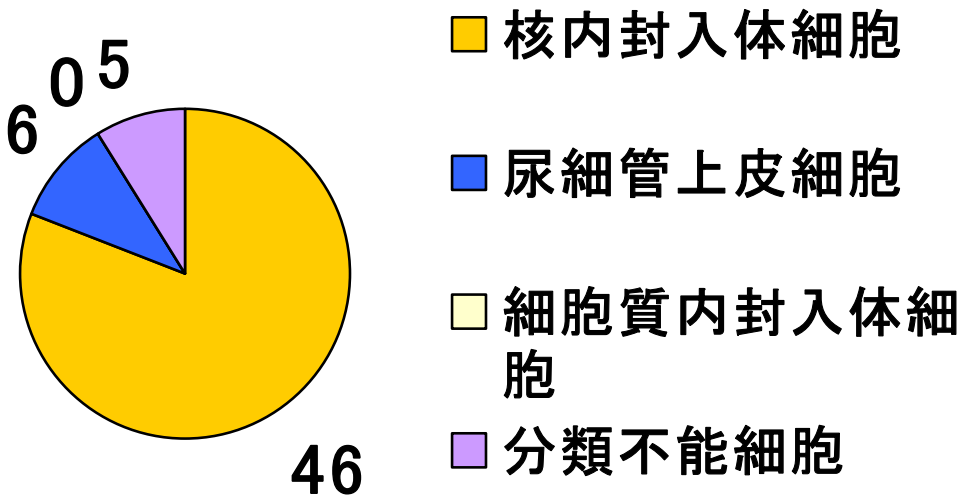
尿細管の障害により、たびたび遭遇する円柱です。

もし白血球であれば、核は分葉していることが多く、細胞質の顆粒は軽く染色性も不良です。

⑤

核内封入体





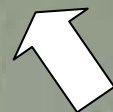
■ 核内封入体

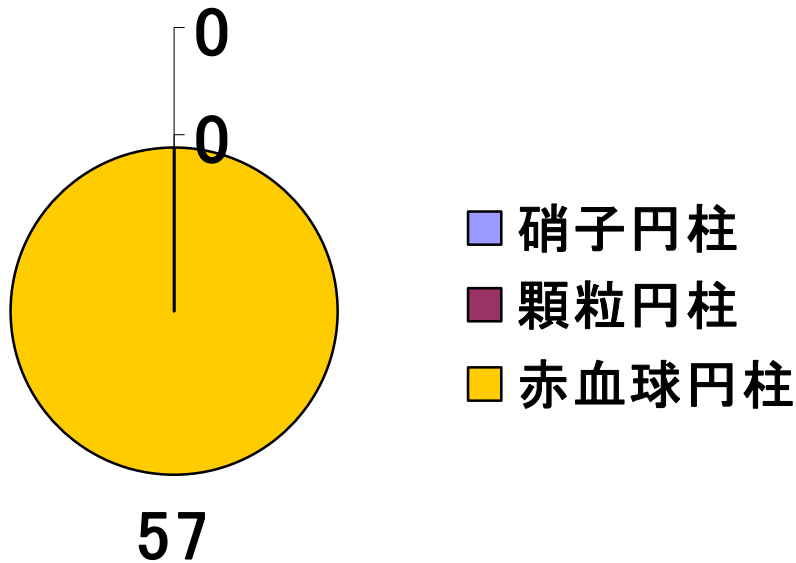
~~N/C比が大きい~~が、~~核の染まりが悪く、スリガラス状~~です。
ヒトポリオーマウイルス感染細胞で、免疫抑制剤の使用などにより免疫不全状態になると増殖すると言われます。

遭遇する機会は少ないかも知れませんが、核のクロマチンが濃くないのと、スリガラス状が特徴です。

⑥

赤血球円柱



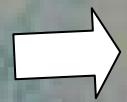


■ 赤血球円柱

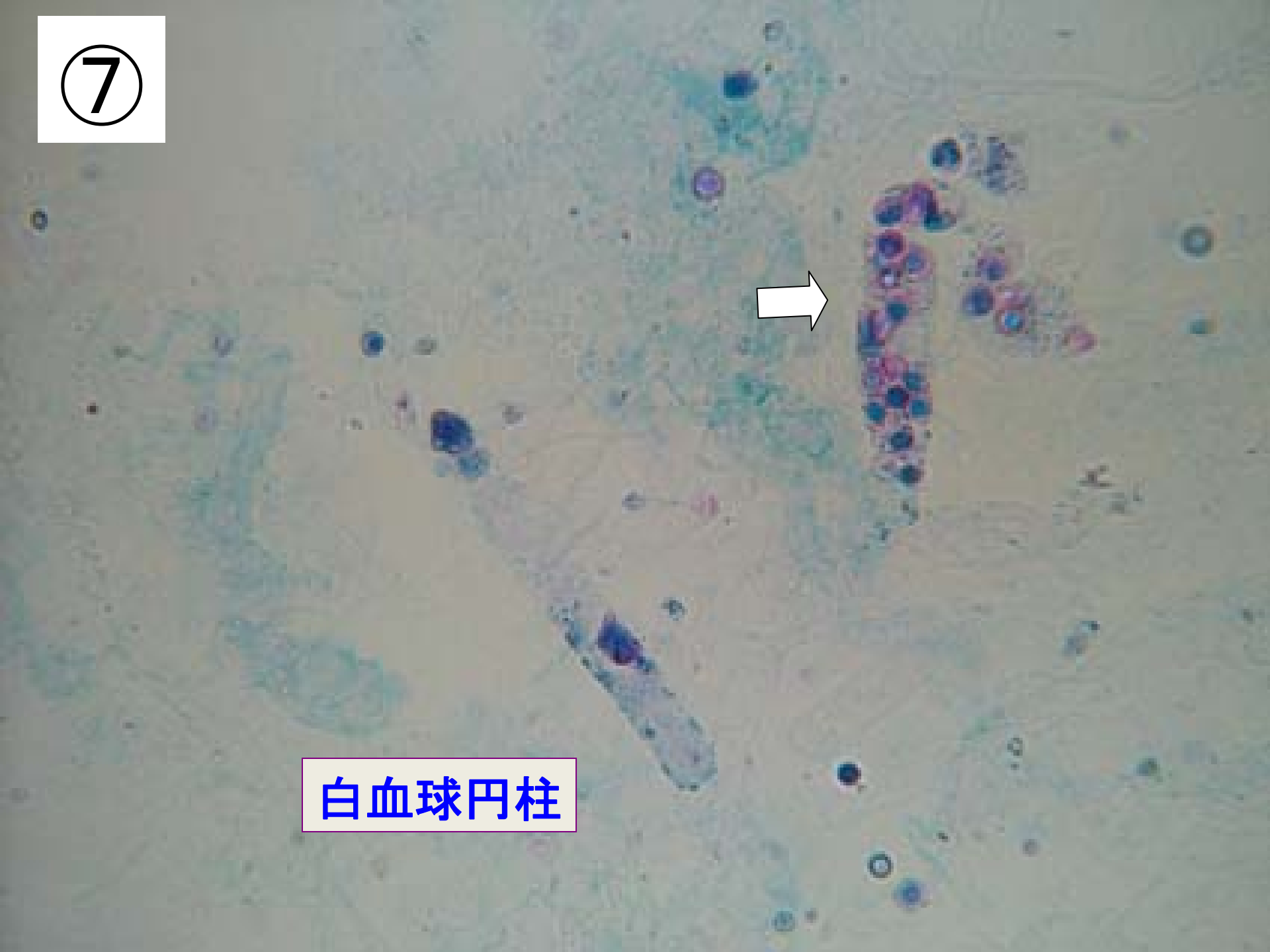
赤血球円柱が見られるのは、
腎臓の糸球体からの出血を意味する重要な情報です。
円柱の周りには変形赤血球も見られます。

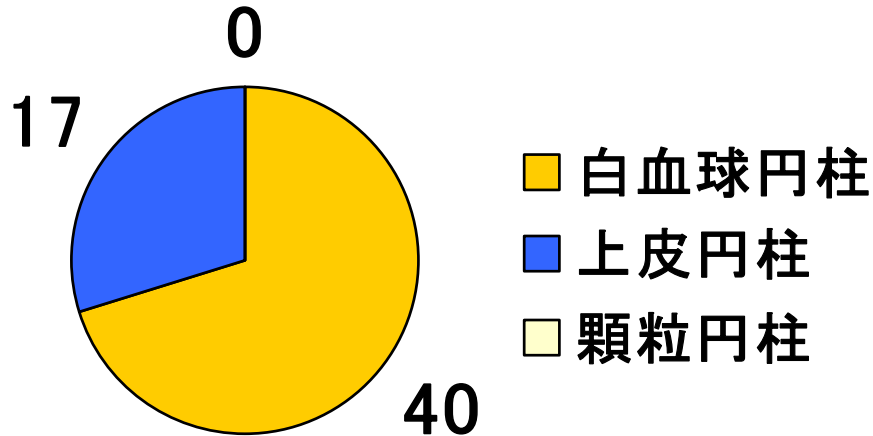
糸球体腎炎の活動期に出現する円柱であるため
見逃さないようにしたいです。

7



白血球円柱





■ 白血球円柱

糸球体腎炎の急性期や急性腎盂腎炎の存在で出現する。

腎実質に炎症があるときに見られる重要な円柱である。

円柱の中の細胞の核が分様していることや、細胞質の状態、周りに白血球が存在するなどが決めてとなるため注意深い観察が必要となる。

上皮円柱

尿細管障害や壊死により剥離した尿細管上皮細胞が円柱内に封入されたもの

糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎実質障害、
抗生剤や抗がん剤などの薬剤、毒物による尿細管障害、腎血流量の減少などでみられる

白血球円柱

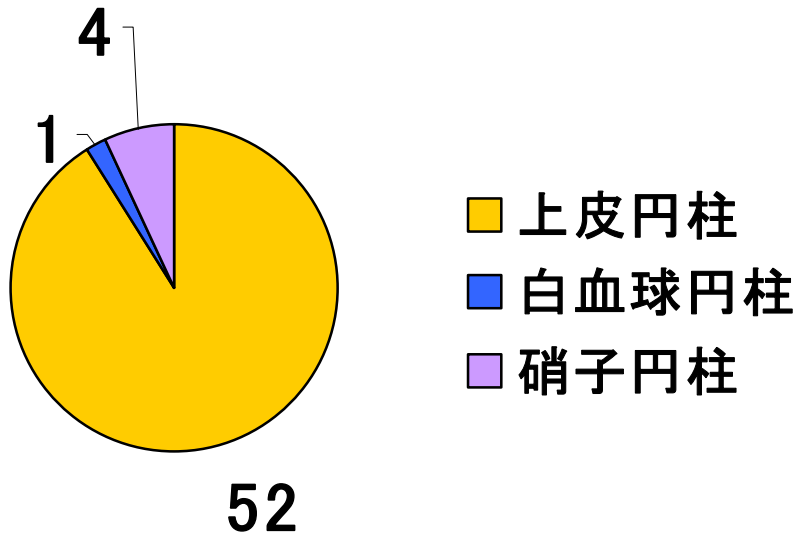
糸球体腎炎や腎盂腎炎、間質性腎炎などの活動期に
好中球主体でみられる
慢性疾患ではリンパ球や単球をふくむ円柱がみられる

急性糸球体腎炎、腎盂腎炎、間質性腎炎

8

上皮円柱





■ 上皮円柱

円柱のなかにある細胞は、周りにある細胞と比較すると尿細管上皮の特徴を有しているため、上皮円柱です。

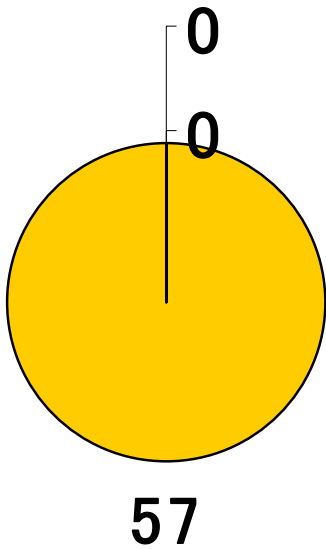
円柱が尿細管から出てくる時に引っ張られて変形したと思われます。

細胞円柱は周りの細胞と見比べると分かりやすくなります。

9



空胞變性円柱



- 硝子円柱
- フィブリン円柱
- 空砲変性円柱

57

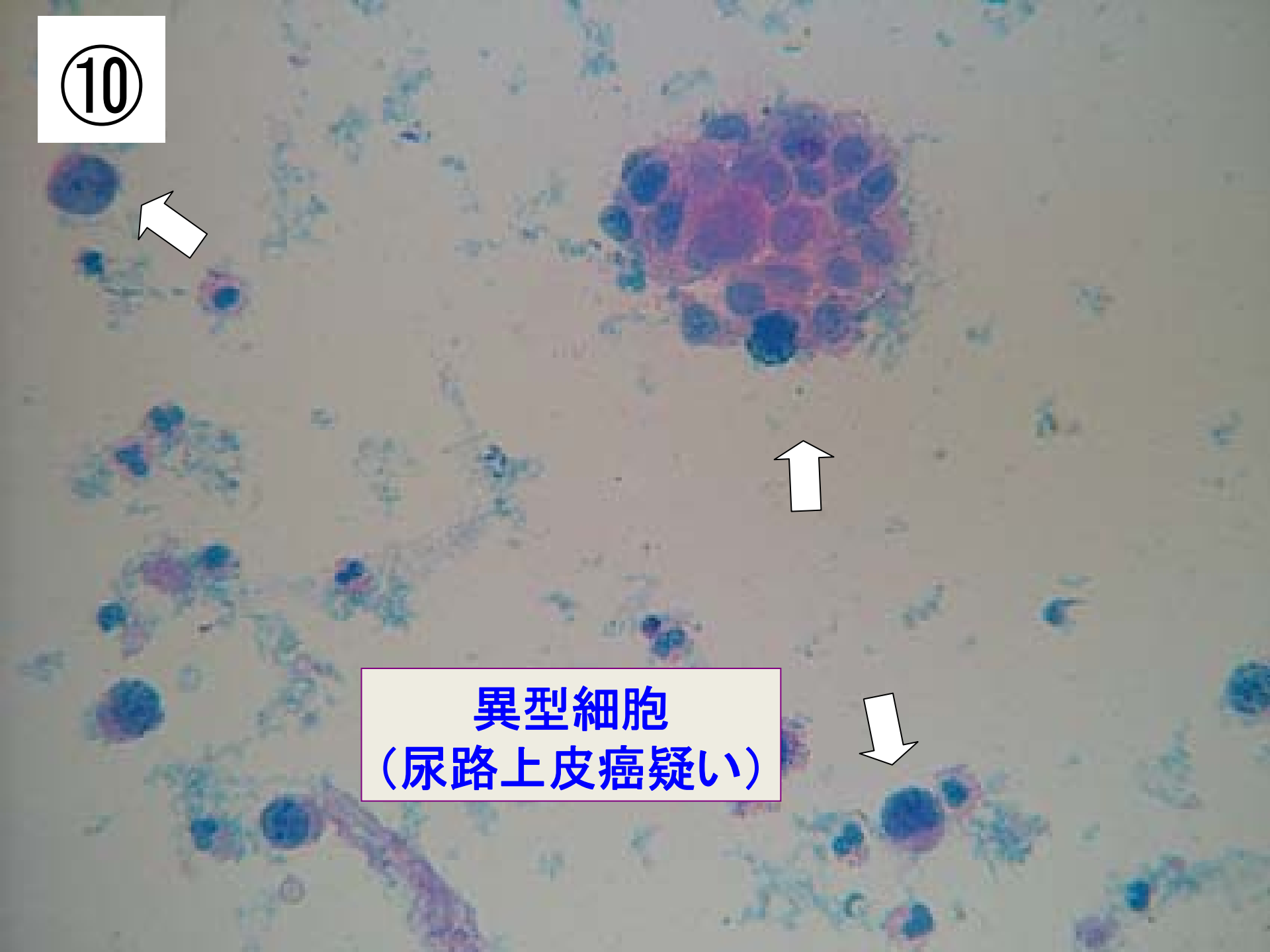
■ 空砲変性円柱

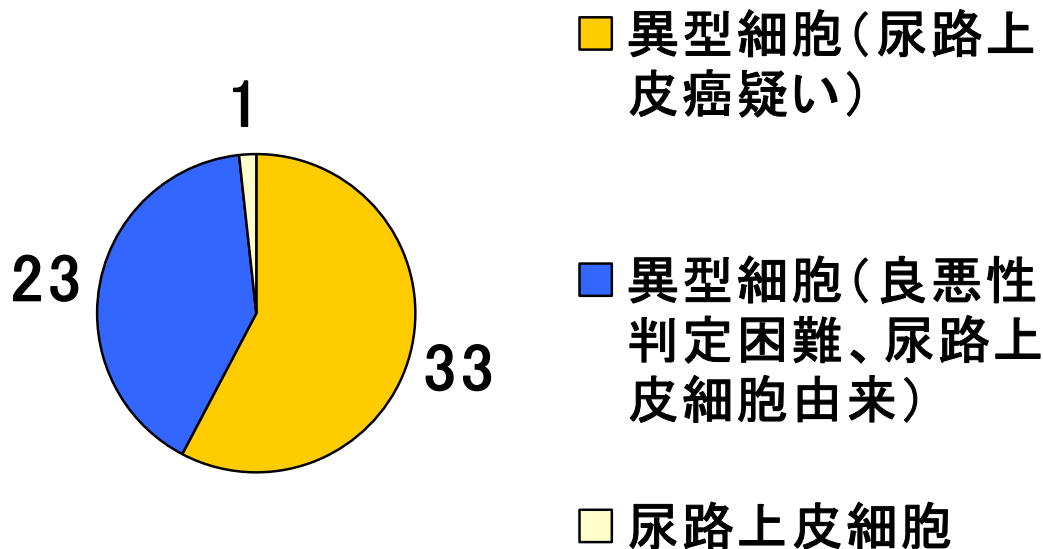
蛋白尿や腎機能低下を伴う糖尿病性腎症などで見られる。

顆粒円柱やろう様円柱の一部が空砲化した、フィブリン円柱が溶解したなどの可能性がある。

10

異型細胞
(尿路上皮癌疑い)





■ 異型細胞 (尿路上皮癌疑い)

悪性または悪性を疑う細胞の特徴は、核の増大、クロマチン増量、核形不正、核小体肥大など。

尿路上皮癌細胞は、孤立散在性や集塊として出現し、異型度が高くなるに伴い結合性が低下。相互封入像は悪性の可能性が高い。

異型細胞と判断することが難しいときは、細胞の特徴などを報告し、細胞診による確認を依頼しましょう。

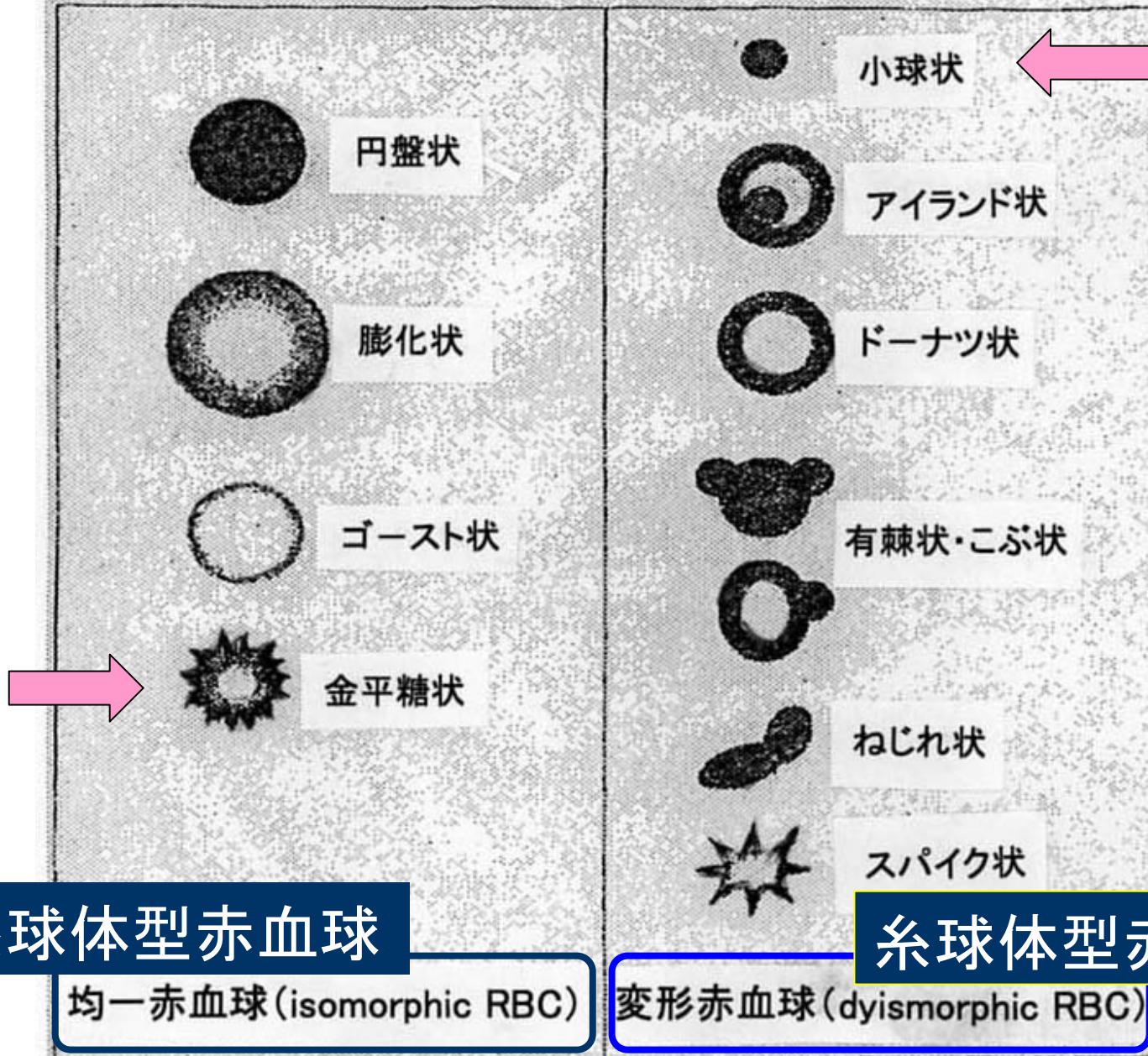


図1 JCCLS 血尿委員会赤血球形態模式図

最後に

似ていて区別が難しい細胞を見分けるには

- それぞれの特徴をひとつひとつ当てはめてみる
- 背景にある細胞と見比べる
- 臨床的意義などを考える
- ほかの検査データも参考にする
- 一人で迷わずに誰か他の人に聞く